

「健康で心豊かに長生きをしましょう。」

令和元年 7 月 30 日
村山 章

「仲よくしないでください。仲よくするとお互いに甘えが出て喧嘩が始まります。共に働く方を他人と考え、一線を置いて付き合ってください」。新しい工場を立ち上げたときに私は、まずパートの皆さんにこう申し上げます。しかし私たちには、孤立化を嫌い集団で行動しようとする集団帰属本能がありますから、どうしても仲よくしてしまいます。職場で仲よくなった人間同士の関係が大きな存在になると、派閥が生まれる要因にもなります。この面でも私は「家庭は感情だけの世界、職場は感情抜きの世界、と割り切ってください」と申し上げます。感情の世界は理屈が通用しませんから、職場は感情抜きにしなければいけません。誠に人間関係というものは難しいのですが、男性の本質は駄々っ子、女性の本質は女王様と考えると、ほとんどの事象は辻褃が合ってきます。昔から「母なる大地」などと言いますが、女性は生命を誕生させるのですから、まさに生命の原点、女王様であたり前ですね。本当に、駄々っ子が生意気を言ってしまう、といったところです。

職場にはいろんな方がおられます。この仕事に生活がかかっている人もおられれば、健康維持が目的の人もおられます。自己主張が強い性格の人、会話が好きな人、お一人おひとり性格も違います。お一人おひとりが、それぞれご自分の人生を生きているのです。しかも、ローンの返済や介護問題、健康不安、老後の不安など、ほとんどの方は問題を抱えて生きています。

職場は、単純に言えば労働を提供して賃金を得る所です。ですから、与えられた仕事をこなせばそれでいい訳です。難しく考えないで、職場では挨拶を欠かさず、人様に迷惑を掛けないようにし、ありがたいと思う心こそ今日の幸せと考え、子供の頃に教わったように行動すればそれで充分です。そのように働いて、少しでも人様のお役に立てれば幸せではないでしょうか。一日一日を大切に誠心誠意、精進していきたいものです。